



診断なら

2021夏号

— 目次 —

- ◆ ご挨拶（堀越副会長）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- ◆ 第10回定期総会報告（原田理事）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- ◆ 奈良県立図書館「体験学習会&無料経営相談会」実施報告（上野会員）・・・・ 4
- ◆ 活性化研究会活動報告（保延理事）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
- ◆ 共通EDI推進研究会によせて（渡辺事務局長）・・・・・・・・・・・・ 6
- ◆ 漢詩と歩む人生の楽しみ（徳南会員）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
- ◆ 得意分野に関する本の執筆依頼の獲得（中村会員）・・・・・・・・・・ 10
- ◆ 各研究会活動状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
 - 企業内診断士会
 - EDI研究会
 - 奈良活性化研究会
- ◆ 新入会員による自己紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
 - 大川会員
 - 大野会員
 - 木戸会員
 - 寺嶋会員
 - 長尾会員
 - 林会員
- ◆ 8月～12月行事予定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
- ◆ 編集後記

ご挨拶



副会長 堀越一郎

今回のご挨拶ではオリンピックと新型コロナワクチンの話をさせて頂こうと思います。

開催前は賛否両論があった東京五輪ですが、始まると日本人選手の活躍もあってメダルラッシュに沸いた日本でした。私も開催前は比較的冷ややかな目で見えていたものの、大会開始後の柔道には思わずテレビの画面に引き込まれていました。獲得メダル数が前回大会よりも大幅に増えたのは井上監督の力量によるものと思われまます。印象的だったのは、3回戦で敗退し敗者復活にも回れなかった向選手について「十分勝機のある相手だったが、しっかり（課題を）埋めてあげられなかった私たちの責任。向に申し訳ない」と涙を流しました。敗退した選手に対してこれほど自責を負うリーダーの姿に私は感動しました。

男子バスケットボールはNBA選手の八村・渡辺両選手やオーストラリアで活躍する馬場選手をはじめとして、比江島選手や160センチ台の富樫選手などの頑張りにより、ついにオリンピックのコートに立っている姿を見たときには胸がじんとききました。しかしそれより驚いたのは女子チームでした。ベルギー・フランスなどの世界ランキング上位の国々に連勝し、決勝戦のリングに立ったことは記憶に新しいところです。このチームも町田選手などの小柄な選手が活躍し、体格差をその俊敏さと運動量そして3pシュートの精度で克服していく姿には感動しました。そしてここにもリーダーの強い指導力と戦略がありました。トム・ホーバスヘッドコーチの、体格差をスピードと豊富な練習量で埋めて、金メダルを取るんだ、という強い意志の下、ついに決勝戦の舞台で米国と闘うという驚くべき光景を目にすることができました。今回のオリンピックで感じたのは、上記のリーダーシップの重要性と組織の不利を有利に変える戦術でした。これらは、会社組織にも当てはまりますし、こうしたリーダーシップ等を備えた会社が生き残り発展していくのだと改めて教えてもらいました。

ところで私事ですが、昨年6月に40年間勤めた会社を定年退職しました。いよいよ独立してコンサル業務に励もうと思っていた矢先、体調を崩してしまい、1年間病院と自宅の往復生活となってしまいました。そして極めつけは今年4月に新型コロナウイルス感染に罹患したことです。重症に近い中等症で基礎疾患もあったためアビガンなどの薬は投与できず、ステロイド投与、酸素吸入での治療となりました。そこでこの病気の持つ怖さについていささかお伝えしておこうと思います。

後遺症の怖さなどの報道はまことにその通りです。退院から3ヶ月近くになりますが未だに酸素吸入が手放せません。外出の際も酸素ボンベを携行することになるので、今は病院以外滅多に外出していない状況です。加えて入院中はほとんどベッド上で過ごしていましたので足の筋力低下が甚だしい。先日朝日新聞に代表的後遺症として肺機能低下と筋力低下との記事が載っていました。私の場合まさにその通りとなりました。報道によれば後遺症は平均約6ヶ月続くとありその覚悟はしておいた方が良さそうです。

若い方を中心に副作用のためにワクチン接種をためらっておられる方がおられるということですが、私のようにいったん罹患し後遺症を抱えるようなことを考えればワクチン接種はためらうものではありません。できるだけ早期に接種されることをおすすめする次第です。

今回は近況報告のような一文になりました。早期にコロナ後遺症を克服し診断士業務に邁進したいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

第 10 回定時総会が開催されました



原田 高峰

今年度の第 10 回定時総会は変異型コロナウィルスの感染拡大で大阪府など全国 9 都道府県に第 4 次緊急事態宣言が発出されている中での開催となりました。昨年度の第 9 回定時総会は新型コロナウイルスの大流行（パンデミック）の中で参加者をできるだけ少人数にするという世評のなか、理事 6 名の参加と会員からの 84 名の委任状による開催でしたが今年度は会場である「きらっ都・奈良」の 3 階会議室の広さも考慮して会員から 20 名限定で参加者を募集しましたところ 5 名の会員から参加希望が寄せられましたので 6 月 9 日（水）の当日は理事 8 名と会員 5 名並びに 75 名の委任状参加で開催となりました。

緊急事態宣言下で酒類の提供等が制限されていた中での開催であったために、今年度も総会後の懇親会は見送りにしましたので来賓の招待も致しませんでした。

また、総会開催前に診断士会本部より 20 年永年表彰者の表彰があり当会の渡辺副会長が森会長より表彰状を授与されました。

総会開催にあたり、司会の渡辺副会長から会員数 112 名のうち会員 5 名と理事 8 名の合計実参加人数 13 名と委任状参加人数 75 名の計 88 名の参加報告があり、定款の定めにより総会の成立が宣言されました。その後定款の定めにより森会長が議長となり議事進行いたしました。議事は議案書の順番通りに第一号議案 1 の令和 2 年度事業実施報告については、森会長の概要説明のあと、昨年度実施した受託事業である奈良県信用保証協会「なら専門家派遣事業」、奈良県中小企業団体中央会、大和高田商工会議所「専門家派遣事業」、「大和高田創業塾」の企画・講師派遣、奈良中央信用金庫「ちゅうしん地域中小企業助成金制度」の審査事業等について、またトピックスとして会員のスキルデータベースの構築・公開について渡辺事務局長が熱く語られました。

続いて、第一号議案 2 の令和 2 年度正味財産増減計算書および貸借対照表については、渡辺事務局長より説明があり監査報告書についても説明され承認されました。

二号議案 1 の令和 3 年度事業計画（案）は森会長から今年度の会務運営内容、受託事業、主催事業、会員向け研修事業、調査研究事業等の説明があり、続いて第二号議案 2 の令和年 3 度収支予算（案）について渡辺事務局長より説明があり審議・了承されました。

以上を持ちまして第一号議案、第二号議案ともに全会一致で承認され総会は閉会しました。



奈良県立図書情報館
「体験学習会&無料経営相談会」
実施報告



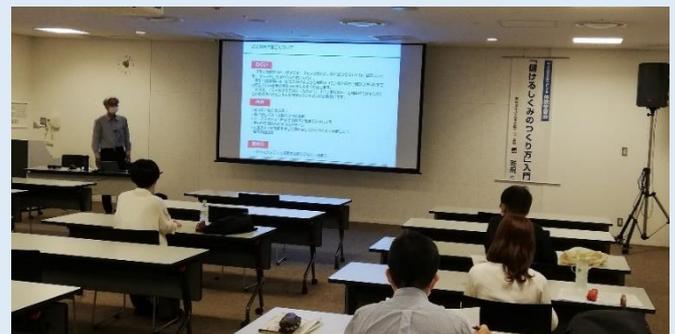
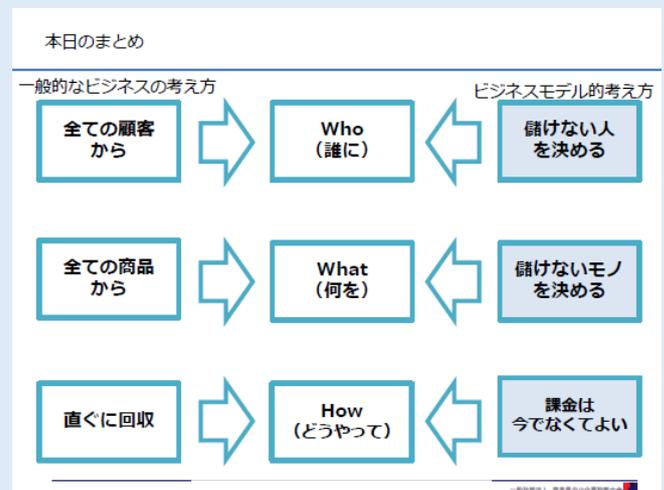
会員 上野 浩二

企業内診断士研究会では、2013年度より奈良県立図書情報館様との共催で、「中小企業診断士による体験学習会&無料経営相談会」を行っています。

今年度(2021年度)も上期(5月、6月、7月)および下期(11月、12月、1月)の年6回のイベントを企画していました。しかしながら、新型コロナワクチンの感染防止のため、上期は7月の体験学習会のみ実施しました。

2021年7月11日(日)には、『「儲けるしくみのつくり方」入門 ～世の中の儲け方を8つのロジックで考えてみよう～』と題し、会員の長雅規氏が講義を行いました。この日は、起業したての女性グループ含む4名の方が受講されました。

講義では、いかに良いビジネスモデルをつくって「儲ける」のかについて、多様なケーススタディを交えながら説明がありました。コロナ禍で参加者相互の交流ができない中、一人で考える時間を積極的に設けるなど、随所に理解を深める仕組みが散りばめられたプログラムとなりました。参加者からは、「儲ける仕組みの中に、“儲けない人”や“儲けないもの”があることが面白く、大変興味深く聞かせて貰いました」などの声があり、好評でした。



講義をする長雅規氏

下期も11月、12月、1月の3回を予定しており、研究会一同準備をすすめてまいります。また図書情報館様のホームページやチラシなどでお知らせをする予定です。

日程	講師	内容(予定)
11月14日(日)	谷村 幸治	「IE手法による作業改善でコロナ禍を吹っ飛ばせ!!」
12月12日(日)	上村 拓也	『対話型組織開発による強い組織の作り方』
1月16日(日)	香川 登志雄	創業超入門 創業に関心のある方なら、どなたでも参加できます

活性化研究会 実施報告



保延 薦 (ほのべ すすむ)

平成 17 年、当時の石川副支部長はじめ、有志数名の発案により、支部活性化の端緒として活動を開始したのが活性化研究会のはじまりです。活動内容は、支部内外の個性ある講演者をお招きし、中小企業診断士の活動に役立つ講演をしていただくというもので、隔月に一回、第 2 又は第 3 土曜日の午後、定例会を開催しております。定例会のあとには懇親会を開催し、講師、参加会員相互の情報交換にも役立っております。参加メンバーは登録制となっており、研究会の開催予告は登録メンバーに対しメールリングリストで連絡されます。(会員数：約 80 名)

今年度上期は、新型コロナウイルスの影響もあり集まったの座学は避けて、4 月に ZOOM で
【テーマ】 経営不振企業の事業承継支援

【講師】 小林俊文氏：中小機構近畿本部 事業承継コーディネーターにご講演頂きました。

6 月には、当研究会では初めて、水谷神社から若草山下山コースを散策しました。

今後もお役に立てる企画を考えていきたいと思いますが、皆様もご要望があれば、是非、ご連絡ください、出来る限り、応えていきたいと思っております。

研究会登録のお申込み、お問い合わせは担当理事の保延（メール：honobe@tkcnf.or.jp）までお願いします。



共通E D I 推進研究会によせて
～インボイス制度は業務効率化のビッグチャンス～



共通E D I 推進研究会
発足監事 渡辺武久

はじめに

共通E D I 推進研究会を立ち上げて間もなく、突如のコロナ禍により満足なミーティングができなくなり、立ち上げの推進役として申し訳なく思っております。まだコロナ禍はつづくでしょう。ミーティングにかわり、ここに研究会の行く末について思うところを報告し、研究会参加、参加希望者各位への指針といたします。研究会再開後はこの指針にもとづいて積極的な活動をいたします。現在の参加者以外でもぜひ研究会に参加ください。

インボイス制度の導入が推進しやすい仕組みへの取り組み

2023年10月に、消費税法の変更によりインボイス制度が義務化されます。それに先立ち、2021年10月にはインボイス制度に向けた登録申請が開始されます。中小企業向けE D I 研究会で対象としている請求書も最終的にはインボイス制度への対応を目的としています。ただし研究会でI T C協会が推奨している共通E D I の仕組みは、世界標準にこだわりすぎて、プロバイダーを仲介とする等、ちょっと取り扱いが重くなっています。研究会紹介のところでも述べているように、もっと簡単に導入しやすい仕組みを取り入れ、あるいは構築することにより、中小企業診断士が対象とする規模の中小企業、個人事業主への普及をはかってゆきます。

インボイス制度は仕入れ税額控除方式への消費税法の改訂

「インボイス」とは、皆様ご承知のように「消費税法において認められた請求書」であり、正確には「適格請求書」というものがその実態です。インボイス制度が実施されていない現在、中小企業の多くが消費税の「免税事業者」となっており、その中小企業が消費者等から消費税込みの代金を受け取ったとしても、受けとった金額に含まれる消費税分は納税する必要がなく、いわゆる益税となっています。免税事業者である中小企業はそもそも消費税を納税しないのですから、消費税法がどのように変更されても自分には関係ないと思われるかもしれませんが、しかし、インボイス制度の義務化に係る消費税法の改訂は「仕入税額控除方式」の変更であるため免税事業者にも大きな影響が生じます。たとえばメーカーが自分の製品を消費者に買ってもらったとき、消費者は消費税込みの代金をメーカーに支払います。メーカーが製品をつくる時、部品や材料の仕入れをしたとすると、仕入れ額のなかには消費税を含んでいます。現在は、仕入れ先が免税事業者である場合でも、消費税課税事業者である場合でも、メーカーは自分が消費者から受け取った消費税額そのものを納税しています。インボイス制度のための消費税法変更では、このようなあいまいさをなくすことになります。仕入先の請求書が消費税を明示した「適格請求書」であれば、メーカーは仕入先が徴収した消費税を納税する必要がなくなり、消費税が削減できます。しかし、免税事業者は適格請求書が発行できないため、免税事業者からの仕入れ分の消費税削減はできないことになります。これが「仕入税額控除方式」です。

インボイス制度の義務化は免税事業者のいのちとり

2023年10月以降、仕入取引の多少にかかわらず、メーカーの立場になる企業は仕入先から「適格請求書」発行を必ず求めてきます。いままで免税事業者であって消費税を納めていなかった企業への大きな影響とはこのことです。インボイス制度の運用が始まれば、免税事業者のままでは適格請求書を発行する資格がないため、やってゆけなくなります。インボイス制度は法令改正であり、従来の取引を継続するためには、どの企業も確実に対応しなければなりません。ただ、法令改正のためだけにインボイス制度を導入するだけではもったいないはなしです。

インボイス制度をトリガーにさらなる業務効率化へ

今日の商取引では、多くのアナログ処理が存在しています。見積もり～受発注～請求～支払い～入金消込、の一連の業務の中のどこかに手作業が入っており、生産性向上の妨げとなっています。社内のみでIT化されていても、相手先の要求で請求書を紙で印刷して郵送するなんてことはありませんか。インボイス制度は法令にもとづいた制度です。相手先の事情も全くこちらと変わらず、同じような業務の改訂が求められています。インボイス制度は、いままで相手先の事情により手作業にせざるをえなかったところをなくすビッグチャンスです。この請求業務の改訂をトリガーとして、前後のすべての業務をIT化できれば、相手先との業務のすべてが効率化されます。インボイス制度を導入推進するだけでなく、そのまわりの業務も含め効率化のチャンスにすること、これをこの研究会の最重要目的としたいと思っています。時間をかけてもやるべきで、診断士のだれでも、こうした手法による効率化が指導できるようになることを願っています。

漢詩と歩む人生の楽しみ



会員 徳南毅一

会社を定年退職後、診断士の資格をもとに独立開業しましたが、同時に漢詩教室に通い漢詩を作るようになりました。以来19年間漢詩を作るのを日課とし、押韻・平仄に苦しみながら400首を作りました。更に生涯1千首の作詩を誓っています。

■自作の一部のご紹介

その1	病毒来	病毒（コロナウイルス）来る
	病毒霾運武漢来	病毒 霾（ばい）運び 武漢より来る
	衆人度面未知災	衆人 度面（しゅうめん）未知の災
	客稀名勝只逢鹿	客稀にして 名勝 只鹿に逢ふ
	終日低頭乞餌哀	終日 低頭し 餌を乞ふは哀れ
その2	病毒蔓延	病毒蔓延する
	古都妖疫蔓延延	古都 妖疫（ようえき） 蔓延延（まんえんえん）
	神鹿垂頭迎客絶	神鹿（しんろく） 頭を垂るも 客を迎ふこと絶へ
	散在独孤頻食草	散在し 独孤 頻りに草を食（は）む
	諸商餌口乏呆然	諸商 餌口（じこう） 乏しく 呆然（ぼうぜん）たり

その1は、昨年4月の作…黄沙とともに武漢よりコロナがやってきて、人々はマスク姿。奈良公園では観光客は少なく、出会うのは鹿ばかり、鹿は頭を下げても煎餅を与える人がなく、煎餅が欲しいと泣いている。

その2は、今年4月の作…古都にコロナが蔓延し、鹿たちは煎餅を諦めたかのように黙々と芝生を食べている。煎餅を買う人もめったにいない。観光客を相手に商売をしていた人々の生活はどうなっているのだろうか？

■日本人と漢詩

文字のなかった我が国に漢字が渡来し、日本人は初めて自己の思いを漢詩で表しました。（751年懐風藻編纂）万葉集は懐風藻に触発され759年に編纂されました。

以来、漢詩は知識人の教養科目となり、明治にいたるまで多くの漢詩が作詩されましたが、戦後は、古文が死文化するとともに漢詩も詠まれなくなっています。

■漢詩の魅力と漢詩教室のご案内

「テンポのよい韻文の響きは読んでいて感慨深く、時空を超えてあなたに迫ることだろう。漢詩を難しいと敬遠するのは非常に惜しいことである。更に漢詩を作れるようになると、あなたの人生が変わることだろう」全日本漢詩連盟初代会長 石川忠久

そこで同好の士と共に下記の漢詩教室を開きました。漢詩を鑑賞し創作する会です。

場 所：奈良市西部公民館 （近鉄学園前駅南 4 F または 5 F 教室）

開催回数：月 2 回

連絡先：090—632 6—2746（徳南の携帯電話）

漢詩は難しくありません。初歩からお教えいたします。

興味がおありの方は、ご連絡ください。

得意分野に関する本の執筆依頼の獲得



会員 中村圭一

私は中小企業診断士として奈良で経営コンサルタントをしています。最近、仕事であいさつした時に「あ、ならまち糞虫館の館長さんですよ!!」と言われることがあります。でも、糞虫の講演会に行って「コンサルタントの中村さんですよ!!」と言われたことはありません。ちょっとフクザツな気持ちです。

こんな私が 100 年以上の歴史を持つ大阪の出版社から「本を書いてみませんか?」という打診を受け、ようやく今年 7 月に刊行にこぎつけました。診断士の中には、いつか自分の得意分野で本を出したいと考えている人は少なくないと思いますので、初めて本を書いた私の貴重な体験を少しお話ししたいと思います。あまり参考にならないかもしれませんが・・・

4 年前の夏、たまたま参加した奈良町のお寺での地域住民向け茶話会で NHK と新聞社の記者と知り合い、名刺交換して繋がりました。短いニュースや小さな記事で私の活動が紹介されると別の TV 局や新聞社からも取材が入るようになり、「脱サラをして夢をかなえた人」という視点で新聞の全国版で大きく取り上げられた時、東京在住の作家いどきえり氏の目に留まりました。記事を見たいどき氏は即、これを書こう! と思い立ち、くもん出版から私の半生を描いた子供向けの童話を昨年刊行されました。この本は新聞やテレビにも取り上げられ、一部書店では「分野別 売れている本」のベスト 3 になったりしてそこそこ話題になりました。こういった動向に注目したフリーの編集者が大阪の創元社に企画書を持ち込み、スカラベブックスシリーズ第 1 弾「たぐましくて美しい糞虫図鑑」のお話しが私に回ってきたということのようです。あ、隠していたわけではありませんが、私の得意分野は「糞虫」で、書いた本のタイトルは『たぐましくて美しい糞虫図鑑』(著: フン虫王子こと中村圭一)、お値段は 1,870 円(税込)。全国の書店で好評発売中です。 ちゃん ちゃん ♪♪

各研究会活動状況

企業内診断士研究会	
活動内容	実務ポイントの獲得とメンバーのスキルアップを目的とした活動を行っている。 2013 年度より、奈良県立図書館情報館において「体験セミナー&無料経営相談会」を開催。
会員数	14 名
開催頻度	体験学習会&無料経営相談会を年間 6 回企画実施
入会申込み先	代表 上野浩二 effectuation007@gmail.com

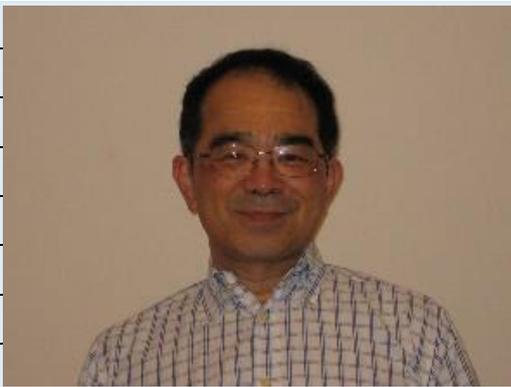
共通 E D I 推進研究会	
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・当研究会は、I T C 協会が基本仕様を策定し、普及を推進している中小企業向け共通 E D ツールを、診断士がサポートする企業に普及させることを目的としている。 ・すでに I T C 協会が認定したソフト会社 4 社が先行しており、いま依頼があればそれを紹介することになるが、診断士がかかわる規模の企業には、価格、機能、導入支援作業等に問題があり、普及するには改善をしてゆかなければならない。 ・当研究会では、今後 1 年で、もっとシンプルな機能を低価格かつ導入支援なしで適用できるよう、診断士版共通 E D I を開発していく。 ・その後、奈良県診断士会が全国の診断協会での推進の旗振り役となり、診断士のビジネスとして確立していく。 ・なお、I T C 協会では、共通 E D I 推進サポーター制度を開始しており、当研究会主査は昨年 7 月に認定を受けた。他の研究会のメンバーにも認定を推進する。 ・コロナ騒ぎで現在活動がとまっているが、収束しだい開始する。
会員数	5 名、活動に参加を希望する会員はいつでも入会していただく
開催頻度	2 ヶ月に 1 回の集合研究、個人作業はテレワークで行う
入会申込み先	主査（代表）：渡辺武久まで fwkz5706@nifty.com

活性化研究会	
活動内容	<p>会員だけでなく、会員以外の参加も認め、会員の広い知識の向上、会員間、その他の方々との交流関係を深めることを行っています。</p> <p>実務に直結する座学だけでなく、奈良県の自然や歴史に触れたり。会員の研究の成果を発表する場として、広く活動しています。</p> <p>また、その後親睦会を開催することもあります。</p>
会員数	約 8 0 名
開催頻度	2 カ月～3 カ月に 1 度
入会申込み先	<p>毎回参加者募集を行いますので、その際お申込みいただくか、保延宛メール (honobe@tkcnf.or.jp) に連絡ください。</p> <p>参加して頂く場合、原則として実費を頂いています、</p>

新入会員による自己紹介

(2021年1月以降にご入会いただいた方)

ふりがな	おおかわ たけよし		
氏名	大川 剛義		
連絡先	Tel	090-8658-2954	
	Fax	06-6842-0036	
	Mail	takeyoshi.ohkawa@nifty.com	
勤務先または屋号			
登録年度	2018年		
転入または重複の支部名	大阪中小企業診断協会		
自己紹介	<p>はじめまして、大川と申します。</p> <p>事業再構築補助金、ものづくり補助金、小規模事業者持続化補助金の申請をご支援した実績があります。経営者様の思いを尊重し、かつ具体的で実現可能性のある事業計画を作成することにより、採択されてきました。補助金をうまく活用して、貴社の強みをさらに伸ばすご支援をさせていただきます。</p> <p>補助金以外でも、経営者様のお困りごとをじっくりと傾聴し、貴社の課題を整理した上で、対策を一緒に考える寄り添い型、伴走型のご支援を心掛けております。</p>		
趣味	テニス		

ふりがな	おおの さとし		
氏名	大野 智史		
連絡先	Tel	090-2160-1394	
	Fax	0743-73-8772	
	Mail	tomo-oonos326@kcn.jp	
勤務先または屋号	TOMO マーケティング		
登録年度	平成12年		
転入または重複の支部名	大阪中小企業診断協会		
自己紹介	<p>京都市生まれ、同志社大学経済学部卒業後、床材をメインとする木質建材メーカー（朝日ウッドテック(株)）へ入社。</p> <p>営業マン、営業管理職を経てマーケティングを担当し、周年イベント・全社キャンペーン企画運営、広告宣伝・広報の新機軸、エンドユーザー向け新感覚のカタログ、サンプル等セールスツール革新に取り組む。同時に、ディベート・実践ケーススタディ・グループロールプレイング等の新手法を取り入れての営業マン教育で成果を上げる。</p> <p>商品企画・開発担当執行役員商品部部長となり、商品の企画開発から市場導入までを一気通貫で見るプロダクトマネージャーとして様々な新商品の</p>		

	<p>企画開発・市場導入を担当する。世界の森、日本の森を歩き、森林、林業の知見を得ると共に、ミラノサローネ等の海外展示会等を視察し、木を使ったインテリアを学び、ストーリーを語るマーケティングスタイル、価値創造をして価格競争を回避し、需要創造をする感性価値マーケティングの確立を目指し、天然木床材「ライブナチュラル」ブランディングに取り組む。現在ライブナチュラルブランドは、業界トップシェアのベストセラーとなっている。国産材の活用も、主要テーマとして取組み、杉材のデザインパネル（クールジャパン）企画・開発をプロデュースし、グッドデザイン賞を受賞する。現在同商品は商品アイテムを広げ、販売好調なロングセラーになっている。</p> <p>2013年 TOMO マーケティング創業。</p> <p>感性価値訴求による価格競争回避、価値創造・需要創造マーケティング・ブランディング、デザインシンキング等を得意分野として、住宅・不動産・建材・インテリアの分野を中心に中小企業診断士・宅建士・マンション管理業務主任の資格を活かして、活動している。経営戦略、新商品の企画開発、実践営業のプレゼンテーション、接客指導、ショールームの立ち上げグッドデザイン賞、ウッドデザイン賞のプロデュース、空き家活用、店舗コンバージョンなど多方面にわたり、数社の顧問としてコンサルティング活動を行っている。</p> <p>日本のインテリアに国産材の活用をライフワークに国産材の産地を訪れ、メーカーの企画開発、また新築戸建、店舗リニューアル、マンションリフォーム・リノベーション等へのインテリアへ国産材を活用すべくコンサルティング、住空間のプロデュース、森と樹と木を語る様々な活動を精力的に行っている。</p>
特技	水泳、水球
趣味	読書、映画鑑賞

ふりがな	きど たかや		
氏名	木戸 貴也		
連絡先	Tel		06-6537-7696
	Fax		06-7635-8214
	Mail		kido@flagship-keiei.co.jp
勤務先または屋号	株式会社フラッグシップ経営		
登録年度	令和1年		
転入または重複の支部名	大阪、兵庫、京都		
自己紹介	はじめまして。大阪で経営コンサルティング事務所に勤務している木戸と申します。今年度から入会させていただきました。診断士歴も業界歴もまだまだ浅いため、不慣れな点もあるとは思いますが、何卒よろしくお願ひ申し上げます。		
趣味	スポーツ観戦、フットサル、ゴルフ、温泉		

ふりがな	てらしま しろう		
氏名	寺嶋 史朗		
連絡先	Tel	080-8917-7599	
	Fax	045-821-3099	
	Mail	tera3463@gmail.com	
勤務先または屋号	てらしま経営事務所		
登録年度	2017 年度		
転入または重複の支部名	東京都中小企業診断士協会 城南支部		
自己紹介	<p>奈良県事業承継・引継ぎ支援センターで中小企業の事業承継を支援しています。また、東工大 YVP（横浜ベンチャープラザ）の入居ベンチャー企業に対して経営支援を行っています。今後、奈良県中小企業診断士会が自治体のパートナーとして受託事業を推進することに貢献したいと考えています。皆様、よろしくお願いたします。</p>		
趣味	旅行、読書、水泳、散歩		

ふりがな	ながおやすゆき		
氏名	長尾康行		
連絡先	Tel	06-6537-7696	
	Fax	06-7635-8214	
	Mail	nagao@flagship-keiei.co.jp	
勤務先または屋号	株式会社フラッグシップ経営		
登録年度	平成 25 年		
転入または重複の支部名	大阪、兵庫、京都		
自己紹介	<p>(株)フラッグシップ経営の長尾です。事業再生、経営改善、資金調達、補助金の申請等、エリアを問わず活動しています。令和 3 年度から初めて診断士協会へ加入しますので、分からないことも多いかと思いますが、何卒よろしくお願申し上げます。</p>		
特技	料理、ブラックジャック		
趣味	海外旅行、カメラ、車、自転車、文房具収集		

ふりがな	はやし だいすけ		
氏名	林 大祐		
連絡先	Tel	090-1154-5059	
	Fax		
	Mail	da-isuke.hayashi@miracle.ocn.ne.jp	
勤務先または屋号	南都銀行 副業（屋号）なりし価値起点イノベーターズ		
登録年度	2007 年度		

転入または重複の支部名

大阪府中小企業診断協会（重複）

自己紹介

【ご挨拶】

奈良県中小企業診断士会のみなさま、はじめまして、林大祐と申します。今後ともよろしくお願ひ致します。

所属は南都銀行です。もう一つ 2021 年 4 月から副業として中小企業診断士の専門性や人脈を活用し「なりし価値起点イノベーターズ」として活動を開始しました。

大阪府中小企業診断協会で活動してきましたが、副業開始を機に奈良でも活動をしたいと考え、奈良県中小企業診断士会にも入会しました。

副業については、2020 年 11 月に知的資産 WEEK に経済産業省の後援を受けた東京のシンクタンクや中小企業診断士達が主催するイベントに登壇し、『「2.0 金融機関での経営デザインシート」活用の可能性』（※1）でお話しした、社会的価値を重視して時代の流れを感じながら構想した、こうありたいと思う将来の銀行員像として描いた銀行員 2.0 をまずは私から飛び込んで実現させる取り組みを始めて高い壁を乗り越える手段として挑戦してみようと決断しました。

同じ方向のパーパス（目標）を持つ方々と共感しあいながら助け合って大きな高い壁を乗り越える、時にはジャンプすることができる時代に入ったと認識したので、日本全国の金融業界やパラレルキャリアの属性を持つコミュニティ、中小企業診断士などの支援者コミュニティ、知的資産経営や経営デザインシート、対話型組織開発などの専門家コミュニティなど 50 以上の多数のコミュニティに所属し、オープンイノベーションやソーシャルイノベーションが起こる起点づくりに取り組んでいます。

※1 知的資産 WEEK の講演資料リンク

『「2.0 金融機関での経営デザインシート」活用の可能性』

<https://drive.google.com/file/d/19-4q5Jd->

[OF2hL8B7EueGjDtfjx9JRjSG/view?usp=sharing](https://drive.google.com/file/d/19-4q5Jd-OF2hL8B7EueGjDtfjx9JRjSG/view?usp=sharing)



知的資産経営 WEEK 2020
2020 年（令和 2 年）11 月 14 日（土）9:00～15:00
（一社）IAbM 総研
（一社）東京都中小企業診断士協会 経営デザイン研究会 共催
経営デザインシートで始める
事業性評価と知的資産経営

【第 1 部 講演会】 午前

1. 基調講演 経営デザイン社会への取り組み
9:00 から 10:00
公益社団法人日本青年会議所 経営デザイン委員会 委員長・キキョウ 岡田 隆彦 氏より、経営デザインシートを利用した新企画や、機関投資家の考え方を紹介します。

2. 講演 金融機関での経営デザインシート活用の可能性
10:00 から 11:00
金融機関に勤務し経営デザインシートの活用を推進している林 大祐 氏から、事業性評価や経営デザインシート活用の可能性についてご紹介します。（個人としての参加になります）

3. 基調講演 SDGs をどう活かすか？ 知的資産による価値創造プロセス
11:00 から 12:00
IABM 総研理事 中村真一 氏より、SDGs や統合報告を知的資産経営の視点で見直し、価値創造プロセスをご提案いたします。

大阪府中小企業診断協会の知的資産経営研究会・組織開発研究会・電機業界研究会・顧客満足経営研究会の活動や日本知財学会の経営デザイン分科会に参加した知見と銀行員として働いてきた私の内面に問いかけて構想したことをお話ししました。

特に将来生み出したい価値を大胆に考えて、それを起点に時間を現在に巻

き戻してこれからの移行戦略を一枚絵で考える経営デザインシートと目に見えない持ち味（知的資産）に着目した知的資産経営の専門家達と実践的に研究しているローカルベンチマークの活用方法や可能性についてお話ししました。

ここを見るからこそ、その企業ならではの将来像が描けます。

【経営デザインシート・ローカルベンチマークガイドブックリンク】

・内閣府知的財産戦略本部「経営デザインシート」リンク

https://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/keiei_design/index.html

経済産業省「ローカルベンチマークガイドブック」リンク

・ローカルベンチマークガイドブック（企業編）

https://www.meti.go.jp/policy/economy/keiei_innovation/sangyokinyu/locaben/locaben_guidebook_kigyuu.pdf

・ローカルベンチマークガイドブック（支援機関編）

https://www.meti.go.jp/policy/economy/keiei_innovation/sangyokinyu/locaben/locaben_guidebook_shien.pdf

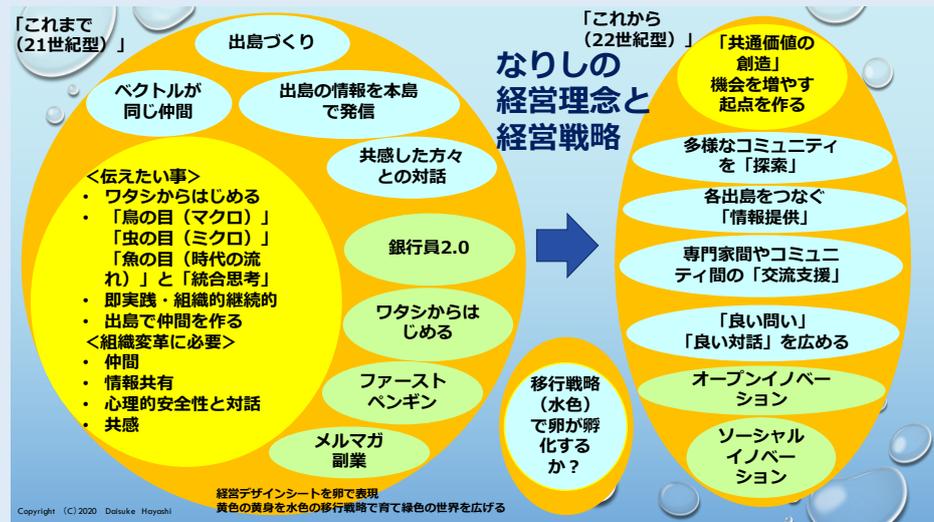


【副業について】

副業の屋号は「なりし価値起点イノベーターズ」です。

これは「然し（なりし）」＝「～だった」というイメージで、関わった方のこれまでのとらえ方を一変させる気づきを与える役割を果たす存在でありたいという想いと、もう一つ「ナラティブなリーダーを支援する」という、ワタシから始める自律的なリーダーシップを持つ方を大切にしたい想いを込めました。そして、実現するためのつながりを提供し、変革者達が共感する仲間と新しい価値を生み出す起点づくりを支援したいと考え、「価値起点イノベーターズ」と続けました。

副業の新規事業としてパラレルキャリアの中小企業診断士や専門家、日本全国の銀行員達とのつながりを活かしたサービス提供を検討しています。



【金融業界の変革者としての活動】

一人の銀行業界に所属する個人として、有志が集まって社会課題を解決する全国のコミュニティに参画しています。金融庁の地域課題解決支援チームの方や銀行員が手弁当で参加する全国の「ちいきん会(※2)」や「地域金融変革運動体(※3)」などに参加し、日本中の変革者達と交流し、同じベクトルの仲間達とつながることで、それらの価値を奈良に持って帰れるように取り組んでいます。

※2 ちいきん会

<https://www.fsa.go.jp/policy/chiikikadaikaiketsushien-team/chiiki-kadai-top.html>

※3 地域金融変革運動体

地域の問題を本気で考えて解決に向けて行動するという、今時珍しい「ヘンタイ」が集うネットワーク。

出典

捨てられる銀行4 消えた銀行員 地域金融変革運動体

著者 橋本卓典氏 講談社現代新書

…著者の橋本氏からは奈良のキーマンだと過分なお言葉で推薦いただいて、地域金融変革運動体に参加させていただくことになりましたので、同氏や関係者の皆様のご支援・ご協力を賜りながら、チャレンジして参ります。

【新しい時代の銀行員として古い常識をアンラーニングする取り組み】

もう一つ目指しているのは経済的価値だけではなく、社会課題を解決することに重きを置いた温か身を感じられる金融を目指すバリュー・ベース・バンキング(※4)の世界を日本らしく作り上げる活動に参画することです。とはいえそれは伝統的な銀行員としての意識の枠を超えることが課題であり、特別なプログラムや対話あるいはそれを発信する活動を日常的に行い続けることで古い常識をアンラーニングしながら私自身の永年知らず

知らずに身に着けてきた認識のうち、時代に合わなくなったものを修正し、殻を破ることで新しい世界の常識を受け入れながら新たな行動を実践できると考えています。

そこで活用させていただいているのが、新しい金融の世界を作りたい仲間達と対話をしながら参加者の内面的な変革を支援する JPBV リーダーシッププログラム（※5）という価値を大切にする金融実践者を育成支援する場に飛び込み、全国の仲間達から刺激を受け、それぞれの率直な意見を聞きながら対話を通じて多様な考え方を知ることによって柔軟性を身につけています。

また、新しい社会や金融機関あるいは個人のあり方を考える対話ができるように「対話研究会」（※6）等で学ぶ一方で、その世界を広げるために『Clubhouse「金融と対話」』（※7）に出演しながら、レギュラーメンバーやリスナーの方々と対話しています。

学んだら少しでも即実践できるように心がけています。

※4 バリュース・ベース・バンキング

<https://note.com/jpbv/n/n25ec06e18a20>

※5 JPBV リーダーシッププログラム

<https://note.com/jpbv/n/ne43ba77b4394>

※6 対話研究会

<https://atsukin.kinken.biz/%E5%AF%BE%E8%A9%B1%E3%81%AB%E9%96%A2%E3%81%99%E3%82%8B%E7%A0%94%E7%A9%B6%E4%BC%9A/>

※7 『Clubhouse「金融と対話」』 毎週日曜日 22時～23時 放送中

SUN, JUN 27

22:00

Edit

【金融と対話】第18回 Daisukeさんゆるゆる金融と副業を語る



w/ Toshiyuki Yasui, Gen Uehara, Akihito Nishiyama, eisuke kawaguchi, Hiroyuki Egami, Yukiko Morita, Daisuke Hayashi, Yuko Kawai & Shozo Yamaguchi —

特技

・コミュニティの数珠繋ぎ

分断された多くのコミュニティには孤軍奮闘している方が多数おられ、そんな方々を数珠つなぎにできれば、非常に大きな価値が生まれることに気づきました。私自身は金融業界と中小企業診断士、あるいはパラレルキャリアの属性のコミュニティからつながりを広げていますが、最近はそのらが一周回って本業のコミュニティにつながってきて、結果的に金融業界と相互に影響を与え合うステークホルダーの皆様と個人対個人でより深く交

	<p>流させていただきます。皆様もぜひそういった取り組みをしてみませんか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オープンな交流 <p>理屈抜きで同じベクトルの仲間ができる事はとても幸福で楽しいと感じています。参加しているすべてのコミュニティで銀行員としては珍しく、顔出し・氏名公開で情報発信まで行っています。これからの銀行員は個人として社会とつながっているべきであるという考えでやっているのですが、そんな人はなかなかいないと、おもしろがられています。そういうことが早く当たり前にできる業界になって欲しいと願っています。</p>
<p>趣味</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・サイクリング <p>私は京都府民なので、奈良の知らない場所がたくさんあります。せっかく自転車道がつながったの訪れたことがない場所にも行ってたいです。</p> <div data-bbox="970 562 1390 1104"> </div> <p style="text-align: right;">な で、 み</p>

◆ 令和2年8月～12月開催の予定行事

- ◆ 診断士の日：11月6日（土）19：00～19：30（ならどっとFMにてラジオ放送）
- ◆ 理論政策更新研修
 - 第1回：9月 4日（土）
 - 第2回：10月2日（土）

編集後記

▽ 会報「診断なら」2021年夏号をお届けします。
 ご協力頂きました皆さまに改めて御礼申し上げます。
 なお、2021年1月～7月ご入会の会員様は7名でした（その内6名の方々から自己紹介原稿を頂戴致しました）。今後とも宜しくお願い致します。
 毎日暑い日が続きます。充分にご自愛ください。

【本田】